

生産工程

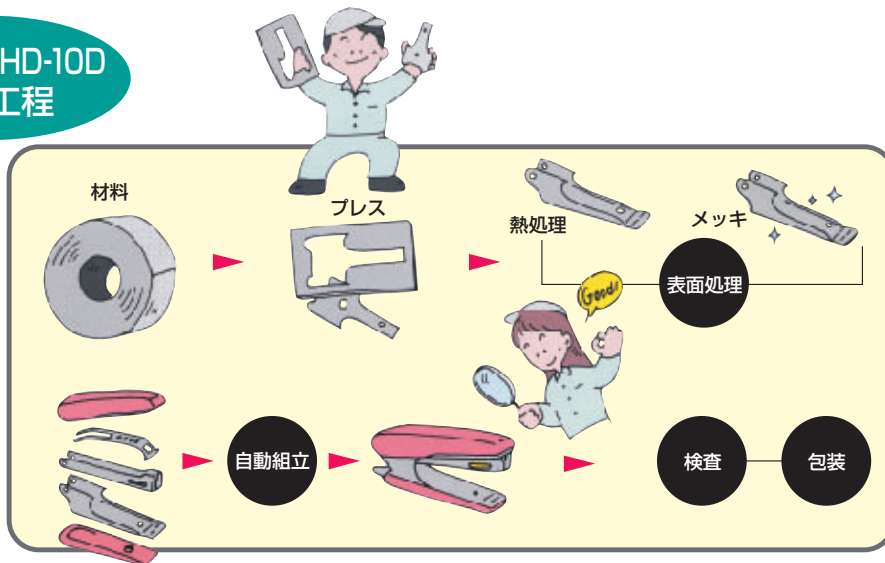
◆ ホッチキスが出来るまで

ここでは、代表的なHD-10Dを例にとってご説明しましょう。

ホッチキス本体は、ハンドル、針を入れるマガジン、針を曲げるクリンチャームなどの部品から構成されています。作り方は、まずプレス機械で材料の鉄板を、ホッチキスの形に打ち抜き、曲げ、しぼり、刻印などの加工を行います。その後クリンチャームは、焼き入れの熱処理をし、メッキで表面加工をします。ハンドルカバーは、プラスチック（ABS樹脂）を成形してつくります。

全部で13の部品が揃い、自動組立機に部品が供給されると無人で組み立てられ、一台ずつ品質検査の工程を経て、自動包装されて出来上りとなります。こうして皆様のもとに届けられます。

ホッチキスHD-10D 製造工程



◆ ホッチキスの針が出来るまで

ここではNo.10の針を例にとってご説明します。

ホッチキスの針は、まず材料の丸鉄線にメッキをすることから始まります。次にメッキした丸鉄線を引き伸ばし、それを数百本束ね、針の形状にするために圧延します。そののち接着剤で数百本接合し、ベルト（带状）にします。最後に専用の製針機を通り、1,000本ずつ緑の小箱に詰めて、出来上がりとなります。

針の製造工程

